

興和電機株式会社

2017 年度 環境活動レポート

2017年4月～2018年3月



作成日： 2018年7月10日

環境方針

<環境理念>

私たちは、深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、回転機器メンテナンスの活動において、機器本体及び部品のリサイクルにより、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

また、環境保全活動において、環境関連法規とその他要求事項を遵守します。

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・電力（工場、事務所）
- ・プロパンガス（工場、事務所）
- ・自動車燃料（営業車、トラック）
- ・洗い油（工場）

②化学物質使用量の削減

- ・トルエン・キシレン・ノルマル-ヘキサン

③廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）

- ・一般廃棄物（可燃ごみ）
- ・産業廃棄物（廃プラ、廃材、廃油）
- ・グリーン購入適合商品・エコマーク商品の購入に努める


④排水量の削減（水資源の保全）

- ・一般水道水
- ・工程洗浄水

⑤本来業務（モーターの修理・メンテナンス）による社会貢献

制定日：2009年5月15日

改定日：2014年9月22日

代表取締役 澤 崎 晃 

□登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
興和電機株式会社 代表取締役 澤崎 晃
- (2) 所在地
本社：〒275-0002 千葉県習志野市実籾3-29-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 品管部長 渡辺 哲也 TEL:047-479-2200
担当者 管理部長 澤崎 真季 TEL:047-479-2200
- (4) 認証・登録の対象範囲
認証・登録番号 0005782
認証・登録事業者 興和電機株式会社
所在地 千葉県習志野市実籾3-29-1
対象事業所 本社・工場
事業活動 回転機器及び付属品、部品のメンテナンス・販売、タワークレーン用スリップリング製造
認証・登録年月日 2010年9月16日
- (5) 事業の規模
年商 457百万円(2017年度実績)
従業員 33名(役員を含む)
延べ床面積 1606.32㎡
- (6) 対象範囲
当事業所に属する全従業員、全事業活動
- (7) 事業年度 4月16日～翌年4月15日
(今回の活動レポートの対象期間はH29年4月1日～H30年3月31日)

□環境目標

		基準年度 実績	2016年度 目標	2017年度 目標	目標設定
①売上高当たりの 二酸化炭素排出量	kg-CO2 /M¥	465	400	395	15 % 削減
②一般廃棄物の削減	kg	2,043	1,818	1,798	12 % 削減
③産業廃棄物の削減	kg	7,122	6,339	6,267	12 % 削減
④総排水の削減	m ³	1,349	1,214	1,214	10 % 削減
⑤化学物質使用量の削減	kg	945	879	869	8 % 削減
⑥グリーン購入の推進	%(非対象品)	66	60	59	9 % 削減
⑦本来業務(モーターの修理・メンテナンス)による社会貢献	台	653	728	735	前年実績比1%増加

※電力のCO₂排出係数は(基準年:0.378、2016年:0.500、2017年以降:0.486)を使用

□環境中期目標

年 度		2009年度	2017年度	2018年度	2019年度
		基準年度 (一部2010年度)	目標 基準年度比	目標 基準年度比	目標 基準年度比
①売上高当たりの二酸化炭素排出量	kg-CO2/M¥	465	395 85%	391 84%	386 83%
②一般廃棄物の削減	kg	2,043	1,798 88%	1,777 87%	1,757 86%
③産業廃棄物の削減	kg	7,122	6,267 88%	6,196 87%	6,196 87%
④総排水の削減	m ³	1,349	1,214 90%	1,201 89%	1,187 88%
⑤化学物質使用量の削減	kg	945	869 92%	860 91%	851 90%
⑥グリーン購入の推進	%(非対応品)	66	59 90%	59 89%	58 88%
⑦本来業務(モーターの修理・メンテナンス)による社会貢献	台	653	735 101%	743 101%	750 101%

※2017年度より電力の目標変更(売上百万円当たりの電力使用量)

□環境活動の取り組み計画と評価

4月～3月までの目標とその実績について、その評価を行った。

取り組み計画	達成状況		単位／目標比	評価（結果と今後の方向）
①売上高当たりの二酸化炭素排出量（電力）の削減 ・冷房の控えめな使用 ・設備の効率運転 （燃料）の削減 エコドライブ運動展開 暖房の控えめ使用	目 標	395	kg-CO ₂ /MY	目標達成 売上が上がり、目標達成。
実 績	355	kg-CO ₂ /MY	90%	
②一般廃棄物の削減 ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化	目 標	1,798	kg	目標達成 意識改革が浸透してきている。
実 績	1,560	kg	87%	
③産業廃棄物の削減 ・工程ロスの削減 ・分別の徹底による有価物化	目 標	6,267	kg	目標達成 汚泥処理が無く、目標達成。
実 績	4,660	kg	74%	
④総排水の削減 ・洗浄工程の改善 ・手洗い・洗濯水量の適正化 ・水洩れ防止	目 標	1,214	m ³	目標達成 漏水箇所修理により、目標達成。
実 績	1,013	m ³	83%	
⑤化学物質使用量の削減 ・化学物質含有量の低い商品への切り替え	目 標	869	kg	目標達成 商品の切り替えによる効果で目標達成。
実 績	666		77%	
⑥グリーン購入の推進 ・事務用品をグリーン購入、エコマーク商品への切り替え ・非対応品（種類）を減らす	目 標	59	%	目標達成 非対応品／全品目数の割合にて管理する 但し、昨年より増加している。
実 績	55		92%	
⑦本来業務（モーターの修理・メンテナンス）による社会貢献	目 標	735	台	目標未達成 目標未達、来期も同様の目標。
実 績	696		95%	

□次年度の取組内容

- ・本年度の取り組み内容と同じとする。

□代表者による全体評価と見直しの結果

- ・環境方針・行動指針を工場に掲示し、従業員への周知を図りました。
- ・今期は二酸化炭素排出量削減の目標を原単位（排出量/売上高）とし、目標達成できました。
- ・構内水道管の漏水修理（H29.4月）が出来たために目標達成出来ました。
- ・本来業務（モーターの修理・メンテナンス）による、電動機修理は目標未達成。

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃油等）
騒音・振動規制法	空気圧縮機・送風機・天井クレーン
消防法（危険物）	シンナー・灯油・ワニス・塗料等
一般高圧ガス保安規則	酸素・アセチレン・プロパン
大気汚染防止法	塗料、ワニス、ホワイトガソリン等
労働安全衛生法	化学物質のリスクアセスメント等
P R T R法	塗料、ワニス、ホワイトガソリン等
フロン排出抑制法	エアコン

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去5年間ありません。

□その他の取り組みを紹介

- ・太陽光発電 H24年2月～H28年3月度発電量 126,849kWh
- ・2017年2月に無災害記録25年達成、現在も更新中
- ・東日本大震災（2011年）に関連する各種電動機の整備を実施